
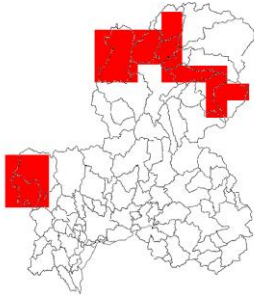


| | | |
|---------------|---|--|
| ヒロハノコウガイゼキショウ | <i>Juncus diastrophanthus</i> Buchenau | 絶滅危惧 I 類 |
| | | イグサ科 |
| 選定理由 | 既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。 | 写真(清水英彦)  |
| 形態の特徴 | 茎は扁平な2稜形で、ごく狭い翼があり、高さ20-40cmになる多年草。茎葉は扁平で剣状線形。コウガイゼキショウより幅がやや広い。花期は6-7月。頭花は球形で、各花がバラバラに星状につき、蒴果は3稜柱形で花被片の2倍くらい長い。 | |
| 生態的特徴 | 山野の湿地などに生える。 |  |
| 分布状況 | 北海道～九州、朝鮮、中国に分布する。県内では県北のかなり広い地域及び県南の西部に生育する。 | |
| 減少要因 | 本種の分布域は県内のかなり広い地域にわたるが、もともと生育個体数は少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。 | |
| 保全対策 | 生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。 | |
| 特記事項 | | |
| 参考文献 | 佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本 I」平凡社(1982) | |

文責:佐藤和良